

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

R7年 6月 日

(あて先)

宇都宮市長 佐藤 栄一

提出者

住 所 栃木県日光市大沢町749-1
氏 名 有限会社 フクダ建材工業
代表取締役 福田 義勝
電話番号 0288-26-5296

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 フクダ建材工業
事業場の所在地	栃木県大沢町749-1
計画期間	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	解体工事業、とび・土工工事業
② 事業の規模	完成工事高 2億円/年
③ 従業員数	15人
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(日本工業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

別紙2のとおり

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

		【前年度（令和6年度）実績】		
① 現状	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり		t
	排 出 量	別紙3のとおり		t
(これまでに実施した取組)				
		再生利用、減量化などに努める。		
② 計画		【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
排 出 量	別紙3のとおり		t	
(今後実施する予定の取組)				
		引き続き再生利用、減量化などに積極的に努める。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	作業現場での分別を徹底し、原則混載をしない。 やむなく混載する場合は、梱包や仕切り等で混ざらないようにする。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
	引き続き、作業現場での分別を徹底し原則混載をしない。 やむなく混載する場合は、梱包や仕切り等で混ざらないようにする。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
核当なし			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
②計画	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
核当なし			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
①現状	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
核当なし			
	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
②計画	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
核当なし			

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 核当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 核当なし		

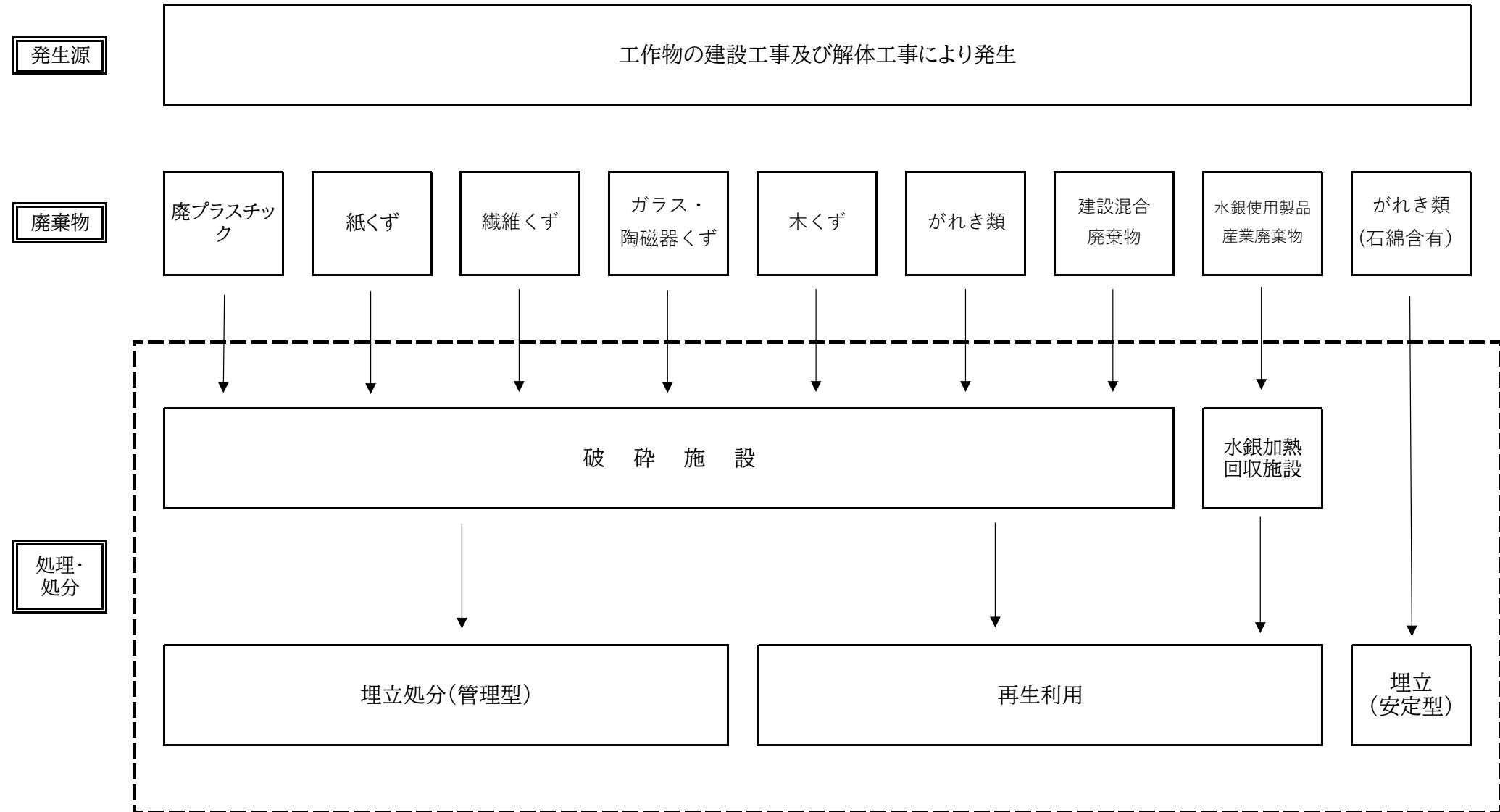
産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
(これまでに実施した取組) 中間処理業者選定においては、再利用をしている業者と 優先的に業者委託契約を行う。			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	再生利用業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
※事務処理欄	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	別紙3のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)	中間処理業者選定において、優良認定処理業者と優先的に 業者委託契約を行い、積極的に減量化に努める。	

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

1、責任者及び役割

廃棄物処理統括責任者 代表取締役

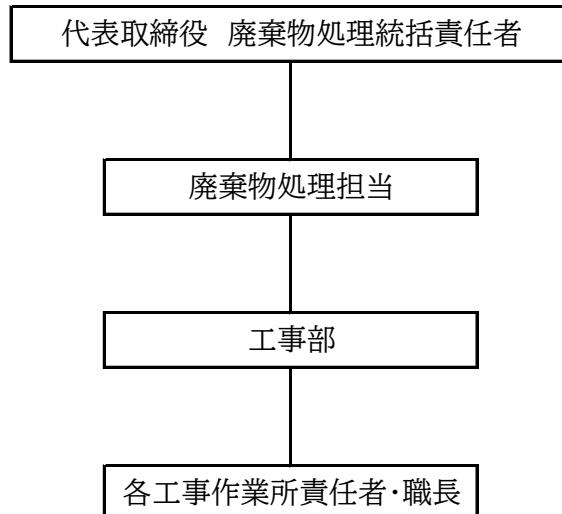
- 廃棄物処理方針の策定
- 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認

廃棄物処理担当者

- 廃棄物処理計画の作成
- 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
- 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理
- 委託契約の締結
- 産業廃棄物及び特別管理産業廃棄物管理票の交付、管理
- 監督官庁への各種報告
- 社員、関連会社に対する教育、啓発
- その他関係する事項

2、管理体制の強化

廃棄物管理組織図



各工事作業所責任者及び関係先と協力し廃棄物処理に関して法令遵守、減量化
適正管理を徹底させるために組織する。

令和6年度実績及び令和7年度目標値

廃棄物の種類及び実績、目標 排出、処分の区分	廃プラスチック類		紙くず		繊維くず	
	実績（t）	目標（t）	実績（t）	目標（t）	実績（t）	目標（t）
	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度
排出量	31.34	31	14.13	14	4.48	4
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋投入処分量						
全処理委託量	31.34		14.13		4.48	
優良認定処理業者への 処分委託量	2.11	2	0.13	1	2.99	2
再生利用業者への処理 委託量	31.34	31	14.13	14	4.48	4
認定熱回収業者への 処理委託量						
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量						

廃棄物の種類及び実績、目標 排出、処分の区分	ガラスくず・コンクリートくず 及び陶磁器くず		木くず		がれき類	
	実績（t）	目標（t）	実績（t）	目標（t）	実績（t）	目標（t）
	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度
排出量	152.3	152	866.75	600	759.3	750
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋投入処分量						
全処理委託量	152.3		866.75		759.3	
優良認定処理業者への 処分委託量	30.2	30	699.4	500		
再生利用業者への処理 委託量	152.3	152	866.75	600	759.3	750
認定熱回収業者への 処理委託量						
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量						

令和6年度実績及び令和7年度目標値

廃棄物の種類及び実績、目標 排出、処分の区分	建設混合管理		がれき類(石綿含有)			
	実績 (t)	目標 (t)	実績 (t)	目標 (t)	実績 (t)	目標 (t)
	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度	R6年度	R7年度
排出量	1.3	1	14.8	14		
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋投入処分量						
全処理委託量	1.3	1	14.8	14		
優良認定処理業者への 処分委託量						
再生利用業者への処理 委託量						
認定熱回収業者への 処理委託量						
認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量						